

<b>令和4年度 指定管理者施設管理評価シート</b>		<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	26 東京都台東区立せんぞくデイホーム	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ RC造 地上7階地下2階のうち5階の部分
(3)	[委託事業] ①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等） ②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 5名 （内 訳）施設長（兼務）、栄養士（兼務）、生活相談員（常勤1）、ケアワーカー（短時間1.6、臨時職員2.3）、看護師（常勤1） （前年増減）ケアワーカー（短時間-0.4、臨時職員-0.7）

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	7,500,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000
	利用料金収入	37,415,000	38,375,372	37,505,000	37,116,491
	その他収入（補助金事業収入等）	688,000	630,188	0	13,650
	計	45,603,000	46,505,560	45,005,000	44,630,141
支出	人件費	26,951,000	30,977,677	26,096,000	29,157,571
	光熱水費	3,417,000	2,578,093	2,278,000	1,935,624
	維持管理費（委託料・賃借料）	8,445,000	8,026,865	9,416,000	9,302,879
	修繕費	800,000	679,712	800,000	281,094
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	5,990,000	4,247,502	6,415,000	4,099,815
計	45,603,000	46,509,849	45,005,000	44,776,983	
収支			-4,289		-146,842

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
開館日数	日	-	311	309	312
定員	人	-	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率	%	79	72.6	79.4	78.2
利用者数	人	2,950	2,710	2,943	2,927

**5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況**

令和2年度と比較して人件費支出は大きく削減されているものの、予算額を上回っているため、引き続き人員配置の効率化等、改善に向けた取組みが求められる。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令、通達等に基づいた施設運営を行っている。災害・事故対応マニュアルを整備し、職員へ研修を実施するとともに、定期的な避難訓練・防災訓練を行っている。また、検温や消毒等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底している。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	基準に応じた人員を配置し、計画的に職員の研修を実施する等、適切なサービスの提供に努めている。新型コロナウイルス感染症の影響によりやや利用率は下がったものの、概ね良好である。引き続き利用率向上のための取り組みが望まれる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備について定期的に状態を確認し、危険箇所の把握と迅速な対応に努めている。また、日常の清掃業務に加え、消毒を実施するとともに、感染症対策委員会を毎月開催するなど、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	幅広いニーズに応えられるよう、入浴方法(入浴時間、機械浴)を増やすなどサービス向上に取り組んでいるものの、利用者満足度がやや低下しているため、引き続き利用者の要望を把握し、改善に努める必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	当初予算と比較し、光熱水費等は削減されているが、人件費の増に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による利用率低下のため利用料収入が減り、若干の赤字となっている。引き続き収支改善に向けた取り組みが求められる。

(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>検温や日々の消毒に加え、毎月の感染症対策委員会等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底している。また、職員研修を計画的に実施し、利用者のニーズに応じて入浴方法を増やすなど、サービス向上のための取り組みもやっている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用率が低下したため利用料収入が減り、収支状況は赤字となっている。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、利用率向上に取り組む、より安定した施設運営が求められる。</p>